

# みんなの 町議会

第21号

平成22年1月15日

 神石高原町



たあ〜かくあがれ

- いよいよ本格化(井関定住団地) ..... 2
- CATV加入・工事分担金徴収など(条例制定・改正)… 4
- 町立病院の安定運営を目指して(委員会報告)..... 6
- 追跡 ありゃあどうなった?(CATV事業)..... 7
- 新年度の重点施策は?(一般質問) ..... 8
- 元気なグループ紹介(上組第一土曜会)&クイズ ..... 14

# いよ本格化 定住団地

## 予約販売開始 4月から77区画

井関定住団地整備事業が順調に進んでおり、4月から予約販売開始、平成23年4月から売買本契約となります。販売区画数を77区画とし、単価などの契約内容については、3月までに決定することになっています。

町と町内宅建業者7社で販売代理業務締結を1月中に行う予定であり、業務内容は、団地販売・販売戦略の検討、実施・地域づくりの検討などです。

また、区画販売・建築の手法・田舎暮らしの勧めなどを町や販売代理業者に指導助言するアドバイザーを配置します。

## 12月定例会

12月定例会は、12月15日から、21日まで開かれました。

今回の定例会（第9回）では、平成21年度一般会計・特別会計補正予算（12月補正）、をはじめ教育委員会委員の任命の同意、神石高原町地域情報通信基盤整備事業分担金の徴収に関する条例の制定など23議案、また地域のくらしを守るための国の予算執行及び予算編成を求める意見書など議員発議4件を含む27案件をそれぞれ原案のとおり可決承認しました。

一般質問では11人の議員が当面する行政課題をたしました。



井関定住団地工事中（場内道路）

# いよ 井関



## 議長新年の あいさつ

新年明けましておめでとうございます。  
町民の皆様には、日頃から町政に対する暖かい御理解と絶大なる御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに新年を迎え、神石高原町の一段の躍進を期して、清新の気が漲るのを覚えます。

さて、昨年は永きに亘る自民党政権から民主党政権へと政権交代し、民主党のマニフェストに国民の多くが期待しましたが、実現には今後更に時間を要すると考えます。

また、国内の経済不況はさらに深刻さを増し国民生活に大きな影響を及ぼしています。

このような中、少子・高齢化、過疎化が急

## 美しい森林づくり事業に 8,000万円

### 12月補正予算

この度の12月補正予算は、一般会計で1億3,846万4千円、特別会計で207万1千円増額され、総額で184億253万3千円となりました。

主なものは、美しい森林景観をつくり森林資源を整

備するため、林道馬ノ瀬線(油木地区内)・林道竜王線(神石地区内)管理道の舗装工事事業に8,000万円、新型インフルエンザ接取者の負担補助に981万5千円、工業振興と雇用安定のための工場等設置奨励事業に

激に進む中山間地域の本町におきましては、脆弱な財政基盤の建て直しをはじめ、雇用の場の創出・定住者の受入対策、新生神石高原町立病院を核とした中山間医療・福祉の確立、地場産業の振興、情報通信基盤・生活交通基盤の整備、学校統合等教育基盤の整備など、多くの課題に真正面から取り組んでいます。

今後、行政需要はその量・質とも複雑多岐にわたり、極めて厳しいものがあります。

神石高原町議会といたしましては、『人と自然が輝く高原のまちづくり』を目指して、より一層の創意工夫を重ね、町民皆様方の御期待にこたえるよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

神石高原町議会議長 岡崎 眞

### 平成21年度一般会計・特別会計補正予算(12月補正) (1万円未満四捨五入)

| 会計名       | H21年度     |             |
|-----------|-----------|-------------|
|           | 12月補正額    | 補正後予算額      |
| 一般会計      | 1億3,846万円 | 135億6,349万円 |
| 国民健康保険    | 0         | 11億6,903万円  |
| 後期高齢者医療   | 0         | 3億6,276万円   |
| 老人保健      | 0         | 5,478万円     |
| 介護保険      | 0         | 18億2,489万円  |
| 簡易水道事業    | ▲5,235万円  | 6億7,579万円   |
| 飲料水供給施設事業 | 17万円      | 3,587万円     |
| 農業集落排水事業  | ▲5,300万円  | 2億3,527万円   |
| 分収育林事業    | 0         | 20万円        |
| 総合開発事業    | 1億725万円   | 2億1,355万円   |
| 特別会計合計    | 207万円     | 45億7,214万円  |
| 病院事業会計    | 0         | 2億6,690万円   |
| 合計        | 1億4,053万円 | 184億253万円   |

1,520万円、有害鳥獣被害防止対策補助に815万円などが追加補正されました。

特別会計では、井関地区定住団地整備事業の上水道整備事業(簡易水道5,300万円・農業集落排水5,300万円)が総合開発事業特別会計に振替えられました。また、新たに定住団地を計画的に販売推進するためにアドバイザー契約を結び3ヶ月分125万円が追加補正されました。

# こんなことが決まりました

## 11月臨時議会

### 財産の取得

神石高原町消防団活動服 (700着) **専決処分**

取得価格 11,392,500円  
相手方 おしゃれ衣料フクマン

神石高原町立病院  
コンピューター断層撮影装置 (CT) **全会一致**

取得価格 29,977,500円  
相手方 GEヘルスケアジャパン (株) 広島支店

神石高原町立小学校 (6校)  
児童用木製机・椅子 (380セット) **12:1**

取得価格 9,468,270円 相手方 (株) サトー

神石高原町立中学校 (4校)  
生徒用木製机・椅子 (220セット) **12:1**

取得価格 5,463,150円  
相手方 ビーム機材 (有) 神石高原支店

### 工事請負契約の締結

**全会一致**

#### 油木市場浄水場改修工事

請負金額 67,882,500円  
請負者 扶桑建設工業 (株) 中国支店  
工期 平成 21年 11月 3日 ~ 平成 22年 3月 31日

## 12月定例議会

### 財産の取得

神石高原町立小・中学校教育及び  
校務に関するコンピューターシステム一式 **12:1**

取得価格 72,765,000円  
相手方 ビーム機材 (有) 神石高原支店

神石高原町立小・中学校電子黒板機能付  
デジタルテレビ及び周辺機器一式 **12:1**

取得価格 9,604,350円  
相手方 (有) ソネ事務機 油木支店

### 教育委員会委員の任命同意

**全会一致**

中岡康典さん (任期満了 2期目)  
任期 平成 21年 12月 23日から平成 25年 12月 22日

山本剛久さん (横山博則委員辞任に伴う)  
任期 平成 21年 12月 22日から平成 24年 12月 22日

### 工事請負契約の変更

#### 井関地区総合開発整備事業

● 井関地区調整池整備工事 (繰越明許) **全会一致**  
請負金額 26,894,700円増額し、95,879,700円  
請負者 代表取締役川上正喜が川上保隆に

● 井関地区定住団地場内道路・  
水路整備工事 (繰越明許) **12:1**  
請負金額 11,934,300円増額し、69,684,300円

#### 緊急地方道路整備事業

**全会一致**

● 町道第2重松線道路改良工事  
請負金額 8,769,600円増額し、88,359,600円  
工期 平成 22年 2月 1日を平成 22年 3月 26日

● 町道仁後線道路改良工事  
請負金額 525万円減額し、56,175,000円  
工期 平成 22年 1月 29日を平成 22年 3月 31日

## 条例制定

### ケーブルテレビ早期加入者に分担金を免除!

| 区分                       | 分担金  |  |
|--------------------------|--|--|
|                          | 平成 22年 9月 末まで                              | 平成 22年 10月 1日 以降                           |
| 一般家庭 1世帯当たり              | 加入分担金 免除<br>工事分担金 免除                       | 加入分担金 50,000円<br>工事分担金 実費<br>負担限度額 50,000円 |
| 借家などに居住する<br>もので個人加入者    |  |  |
| 公共施設・<br>班等の集会施設         | 加入分担金 50,000円<br>工事分担金 実費                  | 加入分担金 50,000円<br>工事分担金 実費                  |
| 一般家庭 増口 1口 当たり           |  |  |
| 一般事務所                    | 加入分担金 25,000円<br>工事分担金 実費<br>負担限度額 25,000円 | 加入分担金 50,000円<br>工事分担金 実費                  |
| 福祉施設等の<br>入居施設 1口 当たり    |  |  |
| 別荘など非住民居宅                | 加入分担金 25,000円<br>工事分担金 実費<br>負担限度額 25,000円 | 加入分担金 50,000円<br>工事分担金 実費                  |
| 集合住宅で家主が<br>一括加入 1部屋 当たり |  |  |
| 大規模事業所                   | 別途   |  |

## 条例改正

### 粗大ゴミなどをクリーンセンターに直接搬入することになりました!

| 区分              | 種類   | 取扱区分  | 処理手数料   |
|-----------------|------|---|---|
| よ直接<br>も搬<br>入に | 粗大ごみ | 家具類・特定家電 4品<br>目以外の家電製品・<br>農機具類等                       | 10kg 当たり 150円<br>直接搬入が困難な<br>世帯を収集する場<br>合にあっては 1回<br>当たり 2,500円を<br>加算する |
|                 |      | 直接搬入の許可を得て搬入するご<br>み (事業系一般廃棄物に限る) 及び<br>指定袋による排出が困難なもの |   |

補正予算に対する  
少し細かな質問

企画財政課

瀬尾議員 寄付金の

受納は、利害関係のある企業・団体からは遠慮すべきではないか。

町長 企業の代表でも個人名であれば分かりにくい。原則は言われるとおりで、今後留意する。

木野山議員 井関定住 団地販売に係るアドバイザー契約に於いて、この度3ヶ月分として125万円予算計上。年間500万円の契約だが、中身は何か販売にどこまで係わるのか。

企画財政課長 過去の販売実績、経験を基に町及び代理販売業者に指導助言する。購買希望者に「田舎暮らしセミナー」「住宅ローン借入れ相談」などやイベントを企画し、総合的なアドバイスをする。

寄定議員 源流の里講演会はどういう内容で誰が講師か。

企画財政課長 地域自治のあり方について四日市大学の講師を予定している。

自治振興会を中心に多くの参加を期待している。

小林議員 地域新エネルギービジョン策定など事業費を40%も削減している。額が多いが。

企画財政課長 委託料の精算実績によるもので、削減ではない。

小川議員 井関定住 団地が、97区画から77区画に変更となり、場内道路も当初の設計から変更になった。当初の調査設計が確実に出来ていなかったのではないのか。また、今後も変更があるのか。

副町長 アドバイザーの指摘で、より売りやすく、より良い区画配置にするため、区画の減と、場内道路の変更をした。

今後、現場の地形に合わせたかたちでの変更はある。

産業課

小林議員 環境貢献林整備事業枠の更なる確保を。

産業課長 間伐150ha余、作業道1,000m余など予定している。

県の状況によるが、今後も随時実施していきたい。

建設課

橋本議員 美しい森林景観の形成及び森林資源の整備を図るため森林管理道の機能向上を目的に、林道馬ノ瀬線・竜王道の舗装工事を予定し今年度完了となっているが、法面の状況はいいのか。また今後の計画路線はあるのか。

建設課長 2路線とも法面の状況は安定している。また、国の緊急経済活性化対策での事業なので、来年以降は計画はない。

環境衛生課

橋本議員 飲料水確保対策助成事業の個人ボーリング3件の助成があるが、飲料水の確保はできたのか。

環境衛生課長 個人からの申請にもとづいて、助成をおこなっている。飲料水の確保はできている。

あるが、飲料水の確保はできたのか。

環境衛生課長 個人からの申請にもとづいて、助成をおこなっている。飲料水の確保はできている。

保健課

寄定議員 新型インフルエンザの予防接種補助はいつまで実施するのか。

保健課長 平成22年3月31日まで受け付ける。ワクチンの供給はおおむね順調に進んでいる。

小林議員 一般住民対象新型インフルエンザ予防接種の計画はどうなっているか。

保健課長 12月3週目に入って、小4〜中3までの保護者に接種の勧奨の案内をしている。

今後、国が示しているスケジュールでは、高校生は1月後半、65歳以上の高齢者の順に接種することになっている。

教育委員会

横尾議員

教育及び校務に関するコンピュータシステム一式

一般成人に対しても補助事業が打ち出されている。

の財産取得選定は、一部のメーカーありきで選定していないか。もっと選択肢を広げる方法はできないのか。

教育課長 今後検討する。



とんど

# 町立病院の医療体制の確立と安定運営を目指して

神石高原町地域  
医療を見守る  
特別委員会

## 調査研究目的

「神石高原町立病院」の運営について先進地事例を調査研究し、本町の医療体制の確立と長期的な安定経営に資するため。

## 調査月日

平成21年11月18日～19日

## 調査研究場所

○県立柏原病院と柏原病院小児科を守る会（兵庫県）  
○医療法人財団新大江病院（京都府）

## 調査結果

☆県立柏原病院は、病床数303床で医師数は21人。丹波市には、柏原赤十字病院もあるが、兵庫県は、地域の中核病院として、県立病院は必要であるという方針で、年間30億円近い赤字を出しながらも、運営している。

また、柏原病院小児科を守る会は、小児科の医師が減る事に危機感を持った母親達を中心に組織。活動は、単に医師の確保だけでなく、市民も、医師の勤務実態を理解し、「コンビニ受診を止めよう」「お医者さんに感謝の気持ちを伝えよう」と、医師の働きやすい地域を作ろうと市民に呼びかける活動を展開。その結果小児科医が5人体制となった。

☆医療法人財団新大江病院は、「国保大江病院」として開設されていたが、平成17年4月国民健康保険新大江病院と改称し、指定管理者による公設民営化で、「医療法人財団新大江病院」が運営。そのため、院長の判断で直接病院経営がされる事により、小回りの利く運営ができています。院長が難病の権威でもあり、大学病院とのパイプも太く、医師の確保も円滑に行われて

いる。診療科も3科目に限定し、医療圏域の中で持ち分を明確にし、無理のない運営がなされていた。

## まとめ

病院の運営は、医師の確保と病院を支える、町や住民の体制が必要と感



病院視察

# 農業の再生を目指して

## 調査場所

○特定農業者団体「峠有機百笑会」（長崎県東彼杵郡波佐見町）  
○「株式会社鳴神の庄」（佐賀県唐津市七山）

## 調査結果

峠有機百笑会は、20年間放置されていたミカン園約4haを開墾し、有機無農薬栽培による野菜生産で成果をあげている。

鳴神の庄は、産直市場の有効活用で生産出荷組織を活性化し、農家所得の向上に寄与している。

## まとめ

荒廃地の再生は多くの資金と労力が必要であり、本町ではこれ以上耕作放棄地が増えないよう、守ることが重要である。

産直市場においては、消費者ニーズの把握と情報の受発信により、出荷協議会を活性化させることが農家所得の向上につながるかと考える。

## 産業建設 常任委員会報告

## 調査目的

耕作放棄地の解消と、産直市場の活性化に資するため。

## 調査月日

平成21年10月29日～30日

# 追跡 ありやあどうなった?

一年前の主要事業が、今はどうなっているか? 追跡しました

## ケーブルテレビ(CATV)事業本格着手!

ケーブルテレビ事業については、本年度当初予算では、調査・設計費用の予定でありましたが、国の大型補正予算の活用により9月議会で、今年度から工事を行う予算化を行い、本格的に事業の着手を行うこととなりました。現在、自治振興会や班を対象とした説明会が開催されています。この説明会では、サービスの内容や、料金体系など詳細な説明行われています。

ケーブルテレビは、「告知放送の統一」、「テレビ難視聴地域の解消」「高速インターネット利用環境整備」など、神石高原町内全域、全戸を対象とした整備を行います。

### これまでの経過



CATV 説明会

- H21. 7月31日 神石高原町地域情報通信基盤整備事業 計画・設計・積算業務委託契約締結 契約先 地域・ケーブルジョイ共同企業体
- 8月26日 神石高原町地域情報通信基盤整備事業 運営事業者選定に係る提案募集開始
- 9月14日 神石高原町地域情報通信基盤整備事業者選定委員会 「運営事業者選定委員会」
- 9月17日 一般会計補正予算に20億730万円を計上
- 9月25日 「情報サービス提供業務」基本事項協定締結 <協定先: 株式会社ケーブル・ジョイ>
- 10月15日 各地区自治振興会連絡協議会支部会議で説明会の開催依頼  
10月から11月中旬に31自治振興会単位での説明会(班単位説明会開催日程調整依頼)  
12月から平成22年3月末までに班単位の説明会開催(218班を対象とした説明会開催予定)  
12月は油木地域34会場での説明会実施
- 12月 ケーブルテレビについての加入分担金、工事分担金条例が定められ、平成22年9月末までに加入された一般世帯は、これらが免除になります。

### これからの予定

地域説明会の内容は、わかりやすいようにビデオなど利用した説明会です。

1月・・・神石地区55班を対象 2月・・・豊松地区49班を対象 3月・・・三和地区62班を対象とした説明会開催が予定されています。みなさん説明会に参加しましょう。

## 議員発議

### 議員発議

#### 国や県に

意見書を提出しました

- 地域のくらしを守るための国の予算執行及び予算編成を求める意見書  
提出者…寄秀幸 賛成者…小川清治
- 平成21年度補正予算において、地域経済に及ぼす事業は執行停止しないこと。
- 〔子育て応援特別手当〕の執行停止の理由を明確にし、復活させること。
- 〔地域活性化・公共投資臨時交付金〕の一部執行停止について、これにかわる新たな措置を講ずること。
- 〔地域医療再生臨時交付金〕は執行停止しないこと。
- 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等、求める意見書  
提出者…村上克朗 賛成者…橋本輝久
- 平成22年度をもって多くの関係市町村で期限をむかえる水力交付金について、過去30年間にわたる交付実績や、今後とも安定的な水力発電を維持する必要がある、平成23年度以降は恒久的な制度とすること。
- 原子力発電交付金との格差をふまえた交付金の最高限度額および最低補償額の引き上げなど交付条件の改善・事務手続きの簡素化を図ること。
- 障害者自立支援法の完全廃止を求める意見書  
提出者…木野山孝志 賛成者…片山元八郎
- 障害者自立支援法を早期完全廃止すること。
- 障害者支援は、国の責務において全額公費負担とすること。
- 非核三原則の早期法制化を求める意見書  
提出者…松本彰夫 賛成者…村上克朗
- 被爆国日本が世界中の国々、世界中の人々から寄せられている期待の大きさを踏まえ、「非核三原則」を国是として掲げるのではなく、その法制化を早期に図ること。

# あなたの声を町政に

一般質問は、一人25分  
一問一答方式で行いました

## 問 新年度の重点施策は

佐伯卓師議員



## 答 財政健全化と 少子化・定住対策

**Q** 経済不況・雇用不安が解消しない中、国の事業仕分けで廃止や見直しも行われている。本町への影響と、22年度予算編成方針および重点施策・新規事業は。

**A** 町長 まだ不透明だが、農道改良を始め多くの事業が対象になり、カットも予想され影響は大きい。

新年度予算は総額91億円を中心に考え、財政健全化を継続する。少子化・定住対策で結婚前の支援や保育所のゼロ歳からの受け入れ、保育料は段階的に無料化の方向で考える。

新規事業でトマト・ブドウの小型団地化への調査、新規就農者対策も考える。

**Q** 本町の新エネルギー対策は、森林の育成保全対策にもなるバイオマスの研究が必要だが、現在では太陽光発電が一番有効だ。

**A** 町長 22年度中の設置が有効だが補助制度の考えは。現在、小型水力発電・バイオマス・太陽光発電を検討している。

新年度から、太陽光発電に対する補助制度も実施する計画だ。



ながの村イベント

## 問 どうする三和地区 学校統合

木野山孝志議員



## 答 団地開発に学校は必要だ

**Q** 町長は政策判断として「来見小の統合は当分の間、見合わせる」と表明されたが教育委員会との合意は出来ているのか。

**A** 町長 教育委員会も苦渋の判断であったが理解はいただいたと思う。

**Q** 子どもたちの教育環境の整備と団地開発を天秤にかけるのか。

**A** 町長 天秤にかけるのではなくどちらも大事だ。

**Q** 団地開発に小学校は必要なのか。団地のイメージは。近隣の団地と差別化を図れ。

**A** 町長 小学校と定住団地は相関関係にあり、学校は必要だ。自然に恵まれ心が癒される、若者から中高年を含め田舎暮らしが

出来る団地を作りたい。農業支援で差別化を図る。

**Q** 来見小の子どもたちはどうなる。

**A** 町長 耐震構造はクリアーしている。複式は臨時教師の配置や交流事業でカバー出来る。

**Q** 高蓋地区への対応は。意見をしっかりと受け止めて対処を。

**A** 町長 学校が無くなる事については教育委員会や地元と協議し、出来るだけのことほしたいが限度もある。

**Q** 新しい過疎計画はどうする。

**A** 町長 若干の見直しをする。少子高齢化対策、農業政策、医療・福祉対策、定住対策が大きな課題だ。

これに取り組み。

**A** 企画財政課長 計画の中でソフト事業も含めたい。単年度で大きな財源が必要な新規事業を組んだ場合は事業年度の調整を行う。原則として継続事業は見直さない。

**問** 町行造林の施業管理委託を

瀬尾征爾議員



**答** 新年度予算から対応したい

**Q** 300haに及ぶ町行造林は本町最大の物的財産であるが、この管理が極めてズサンだ。契約書の保管・内容の把握・施業歴・施業計画など必要不可欠な書類整備ができていない。植林から保育に携わってきた林業団体に長期施業管理を委託するのがベストではないか。

**A** 町長  
地権者の方から手入りが遅れているということは以前から聞き及んで

**Q** 今まで整備する補助事業がなかったが、今からでは遅いので積極的に推進していくが、行政が事務から現場までもつのは対応が遅くなる。スピードをあげ事業を成し遂げるのは、提案された林業専門団体と長期施業管理契約を結ぶのが良く、新年度予算で調査費を付け、速やかに作業に入りたい。

**A** 町長  
小学校統合の一連の迷走については、

**Q** 私の政策判断で皆さんに迷惑をかけたが、その判断は妥当と思っっている。見解の相違、立場の違いがあり、それをくぐらないと物事は成就しない。

**A** 町長  
結果的には迷走したところとなり、教育委員会にも迷惑をかけた。反省すべきは反省する。

**A** 教育長  
再編計画は間違っていないと思っっている。今回の決定は教育委員会と

しては不本意ということになる。教育長としての一連の処理については、経過の段階で教育委員会の思い・委員の思いを町長に伝え切れていなかったと思う。職責の重さを痛感し、反省している。



町行造林

**問** 本町の不況対策は

村上克朗議員



**答** 緊急に検討する

**Q** 町内企業は仕事量が落ち込み、所得の減少や雇用環境の悪化など危機的な状況にある。雇用の安定など、地域のくらしへの見通しは。

**A** 町長  
事業所の経営基盤の安定に向け、県の雇用創出資金に町も加算し、実態に即した支援をした

**Q** 国・県の補助金を元に総合的な窓口を設け、職業の斡旋や臨時的雇用の創出を行うべき

**A** 町長  
臨時的にでも総合的相談窓口の設置をハローワークと協議し、可能なら実施する。

**Q** 雇用の確保が重要だ。人手が必要な介護と医療・看護や農業に人材が集まる制度の構築が必要では。

特に、農業後継者は育たず年々減少している。特産品、地域活性化開発に思い切った補助金を。



トマト団地（豊松）

**A** 町長  
集落法人に対する国・県の支援は呼び水の補助金で、補助金が無くなったとき、収支が悪化し極めて深刻である。付加価値の高い農産物を検討している。

**Q** 農業への企業誘致を。

**A** 産業課長  
地元養鶏業者の減少で他県からの企業の農業への参入を促したい。

**Q** 子育て・定住支援制度が平成22年3月31日で終了する。

**A** 町長  
やまなみ商品券は商工振興にもつながっている。今後の取り組みは、この制度は拡大し継続する。

**問** 三和地区  
統合小学校建設は

片山元八郎議員



**答** 政治判断で決定

**Q** 来見小学校は統合せず、との町長による「政策判断」の理由は何か。

**A** 町長 ①来見地域の508名から存続陳情書が提出された（地域住民の70%程度）②定住団地販売業者の指導（学校が無くなれば、売れない）③松が峰団地転入保護者の意見（学校があるから転入してきた）などを総合的に考え政治判断した。

**Q** 二幸小・高蓋小・三和の三校で、平成23年4月、三和中の敷地内に、新小学校を開校する方針に変更はないか。

**A** 町長 計画どおりだ。

**Q** 統合の時点で、来見小のみ複式学級となるが、保護者の理解を得られるのか。

**A** 町長 来見地域での説明会で、複式を許容されると感じた。当面見送るが、定住団地の方向性を見

て、早い時期での統合を考えた。

**Q** 数回にわたる保護者のみへの説明会での感触はどうか。

**A** 教育長 保護者全員参加ではないが、過半数は「統合やむなし」と感じた。アンケートを取れば、地域への遠慮もあり、△印を付けざるを得ない、との意見も出た。

**Q** 新小学校へ親の責任で行かせたい、という保護者が出た場合認め

るのか。

**A** 町長 従来どおりの学区制を維持する。

**Q** 「政策判断」を決定する前、議会に説明しなかった理由は。

**A** 町長 私の調整権の範囲内と考えた。



三和地区統合小学校建設予定地

**問** 分収育林基金問題の  
顛末は

小林 貢議員



**答** 検討の余地がある

**Q** 愛宕山分収育林基金問題について、新聞報道を事実と理解してよいか。

**A** 町長 全く事実で、村が30口・法人が11口・個人19口である。

**Q** 「出資金約1,000万円を取り崩し、一般会計に繰り入れる不適切な会計処理」について、町長の所見はどうか。

**A** 町長 合併協幹事会の申し合わせ事項の中に「あら

ゆる取り崩しについては目的のある取り崩しは認めるが、残金は総て新町に引き継ぐ事」となっている。

全額取り崩す事は認められていない。

この点は厳しく申し上げていくが、極めて遺憾である。

**Q** 旧豊松村関係当事者から確認が取れているか。



愛宕山分収育林

**A** 町長 基金条例を廃止した経緯を確認している。

何れも好ましくないと思われるが「合併協の認事項を尊重しながら検討し、基金は契約対象樹木の保育に必要な業務に充てるものなので、現地を確認し、今後の業務は草刈りなどであるとして基金を取り崩した」といわれている。

**Q** 出資者の意向はどうか。

**A** 町長 1月早々にオーナーをお呼びして説明する予定である。

**Q** 全町的には不公平である。どう顛末するのか。

**A** 町長 違法ではないが、不適切である。全町のバランスもあり、検討の余地がある。

**問** 一般廃棄物処理、委託料に問題はなにか

横尾正文議員



**答** 内容を精査して修正を検討

**Q** 一般廃棄物の処理委託積算方法は、国や県の統一した基準やマニュアルなどはない。そのため業務に必要な経費を積算し、見積

**A** 町長 約400トンを再利用して円滑に処理できている。

**Q** 現在の町のゴミの状況は、可燃ゴミは年間約1,000トンを固形燃料とし、資源ゴミは年間約400トンを再利用して円滑に処理できている。

**A** 町長 環境衛生課長 平成20年度は、役員を含め職員が5名で年間約1,020人役である。また、道路の清掃業務が40数日加算される。

**Q** 三和地区の収集処理事業もクリーンセンターじんせきの委託業者と聞いているが、ゴミの量は全体の何パーセント

**A** 町長 環境衛生課長 約1,020人役である。また、道路の清掃業務が40数日加算される。

**Q** クリーンセンターじんせきの稼働日数は、環境衛生課長

**A** 町長 環境衛生課長 約46%で、従事者は2名である。

**Q** 環境衛生課長 区のごみ収集運搬処理業務の経費が年間約3,200万円となる。金額が多いと思われるが、積算方法に問題があるのでは。

**A** 町長 環境衛生課長 詳細については掌握していない。

**Q** 来年に向けて積算方法を再検討できないか。

**A** 町長 環境衛生課長 積算内容を精査して、不具合のあるものに対しては、修正をかけた。

**Q** 町税徴収アドバイザーを導入した後の平成20年度及び滞納繰越分の町税などの徴収状況は、

**A** 町長 滞納は昨今の経済状況により増加傾向である。

**Q** 11月末で滞納繰越金の徴収率が約26%だが、今年度末までの徴収率の予測は、

**A** 町長 住民課長補佐 40%が目標。

**Q** 住民課長補佐 延べ調査件数は5,046件、実際の差押え件数は18件で金額は約63万円である。

**A** 町長 延べ調査件数は5,046件、実際の差押え件数は18件で金額は約63万円である。

**Q** 三和地区の収集処理事業もクリーンセンターじんせきの委託業者と聞いているが、ゴミの量は全体の何パーセント

**A** 町長 環境衛生課長 約1,020人役である。また、道路の清掃業務が40数日加算される。

**問** 小学校の統合・町長の権限は

松本彰夫議員



**答** 建設が伴う場合は町長の判断も

**Q** 三和地区の小学校統合について、町長の政策判断により、来見小学校の統合が延期された。小学校統合は、「学校再配置検討委員会」の答申を受け、教育委員会で決定された。

**A** 町長 学校の建設を伴わない統合は、教育委員会の権限だが、今回のように、建設を伴うものは、関係

**Q** 関係があり町長の判断も必要である。

**A** 町長 教育委員会はいつ方針変更をしたのか。

**Q** 教育委員会での決定した。12月14日の臨時教育委員会に、方針変更を説明するのは越権行為ではないのか。

**A** 町長 教育委員会の方針変更を述べていない。

**Q** 町長の政策判断の説明に同席したのであって、教育委員会の方針変更を述べていない。

**A** 町長 職員は数名しかいない。職員の補充も必要ではないか。

**Q** 結果として半年遅れた事はお詫びする。

**A** 町長 今年度末には10人近い職員が退職の予定だ。欠員の補充も無いが、住民サービス・事業に支障はないのか。

**A** 町長 20代の職員は数名しかいない。職員の補充も必要ではないか。

**Q** 町長の政策判断ならなぜ、もっと早く行わなかったのか。

**A** 町長 結果として半年遅れた事はお詫びする。

**Q** 今年度末には10人近い職員が退職の予定だ。欠員の補充も無いが、住民サービス・事業に支障はないのか。

**A** 町長 20代の職員は数名しかいない。職員の補充も必要ではないか。



来見小学校

**問** 住宅用火災警報器設置と作動は確実か

小川清治議員



**答** 適正に作動するか自治振興会で確認

**Q** 火災予防条例により、すべての住宅へ住宅用火災警報器などを設置することが義務づけられ、補正予算で町内全世帯に住宅用火災警報器を設置する事業が実施された。

**A** 町長  
補助金は31自治振興会に1,002万2千円支給した。

①補助金交付状況は。  
②町内設置状況は。  
③確実に取り付けられ、正常に作動するか。

**Q** 設置状況は3,401世帯で普及率81.1%である。

**A** 町長  
適正に作動すると思われる。確実に取り付けられ、正常に作動するか確認が必要では。

**Q** 総務課長  
各自治振興会にお願いする。

**A** 町長  
有害鳥獣対策において

①今年度の被害状況は。  
②来年度予算に向けての取組みは。

**Q** 町としてどういった団地づくりを目指すのか。また、募集についてどの年代層をターゲットに考えているのか。

**A** 副町長  
特色ある団地、たとえばエコタウンといったほかにない団地を目指す。またあらゆる年代層で、特に子育て中の若い世代に期待している。

**Q** 町長  
農業振興として、第二のトマト団地の整備を考えては。

③特に、猪の被害が増加している。防柵など守りより攻めの施策が必要では。

**A** 町長  
犬を使い猟銃で駆除する方法での駆除特別班をモデル的に設置すべきでは。

被害状況は43筆で380・5アール。電柵は291件、トタン9件、鉄柵7件、ネット11件。来年度への取り組みとして、猪の駆除については、三和地区以外では犬



安田消防署

**問** 井関定住団地の販売方法は

橋本輝久議員



**答** 代理販売とする

**Q** 井関定住団地事業の全体的工事の進捗率は。

**A** 町長  
55.5%でおおむね良好だ。

**Q** 平成22年4月から予約販売の予定になっているが、販売方法は。

**A** 町長  
代理販売としたい。平成22年1月中には町内宅建業者と業務委託契約を締結する。

**Q** 販売手数料を支払うのか。

**A** 町長  
宅建業法に基づいて、報酬を支払う。代理販売なので買主分の手数料も町が負担する。

**Q** 「田舎暮らし」の、メリット・デメリットは人によって価値観の相違がある。わが町を理解する田舎暮らし支援講座を開設しては。

**A** 町長  
良い提案だ。積極的に検討する。

**Q** 町としてどういった団地づくりを目指すのか。また、募集についてどの年代層をターゲットに考えているのか。

**A** 副町長  
特色ある団地、たとえばエコタウンといったほかにない団地を目指す。またあらゆる年代層で、特に子育て中の若い世代に期待している。

**Q** 町長  
農業振興として、第二のトマト団地の整備を考えては。

**A** 町長  
トマトに限らずブドウも団地化整備を目指していきたい。新年度に調査費を計上する。

**Q** わが町の農地を守り荒廃地の拡大を抑制するためにも農業公社の柔軟性をもった体制がとめられるが。

**A** 町長  
地域を担う公社として、時代に即応した経営形態を目指す。



1月1日 ヒコーキタワーにて

○もう一度お出かけタクシーを見直して欲しい。ふれあい号では県道まで出るのに500m以上あり、年寄り(90歳がいる)には無理、家族が休むか、タクシーになる大変不便、もう少し山間僻地のことを考えて欲しい。  
(60歳・男性)

○若者の定住を定着する事が、現在一番の大切な問題です。町独自の経営する会社などを

○「4月1日から町内便で益々便利になった路線バスをご利用ください」との記事で4月上旬バスの時間表が配布された。期待していたのも束の間、11月1日より減便とのこと。特に油木〜高蓋線の減便、私は病院9時の予約ですが、どの便で行けばよいので

すか。また、帰りは12時51分のふれあい号を利用せよとのこと。病院は1人でも多くの患者を求められておられるのではないのでしょうか。大勢の人が廃止のバスを利用されているのですが。(83歳・男性)

○役場からの色々なチラシの中に『カタカナ』語がよく使われています。できれば、日本語を入れて頂けたら良く理解ができると思うのですが。  
(78歳・女性)

# クイズの解答とともに寄せられた “まちの声”

## 問 「源流の里」対策、最優先の取り組みを

寄定秀幸議員



## 答 交通網整備など可能な限り支援をする

**Q** 「源流の里」維持・再生への取り組みを早急に実施すべきだ。地域格差是正のため、町道や県道などの整備は喫緊の課題である。「源流の里」をどこよりも最優先すべきでは。  
**A** 町長 再生化・活性化が可能な集落には、ハード・ソフト両面への支援を可能な限り実施する。格差是正のため町道や県道の待避所の設置など、交通網整備を実施す

**Q** ふるさと応援団の組織化への取り組みは。  
**A** 町長 町出身者の意向調査など実施し、前向きに検討していきたい。  
**Q** 誇りに思えるふるさと創出の取り組みは。  
**A** 町長 安心・安全な生活と定住・子育て支援の大幅な拡充など、総合的な対策で誇りに思える神石高原町の創出に取り組む。

**Q** 来年は「国民読書年」であるが読書推進にどう取り組むのか。  
**A** 町長 「国民読書年」という記念すべき節目の年にふさわしい予算計上を考えている。  
**Q** 教育長 学校での朝の読書、読み聞かせの充実、町立図書館の広域連携や学校図書館の整備充実を図る。学校や家庭での読書推進に取り組む。

**Q** 今年から開始したブックスタートの成果と認識は。  
**A** 教育長 絵本を赤ちゃんに配布し、読み聞かせの会の協力で実施している。46組中45組が参加。今後も継続する。



ブックスタート

### 第3回 議会クイズ 解答

- ① 黒字
- ② がん
- ③ 学力
- ④ CATV
- ⑤ インフルエンザ

ご応募頂きありがとうございました。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1,000円分のやまなみ商品券をお贈りします。

### 第3回クイズ当選者

- |      |         |      |         |
|------|---------|------|---------|
| 三和地区 | 川崎 博文さん | 神石地区 | 田邊 清子さん |
| 豊松地区 | 妹尾 豊子さん | 三和地区 | 重松 巖さん  |
| 三和地区 | 小林 福春さん |      |         |
- (順不同)

# 元気なグループ紹介



上組第一土曜会

**上組第一土曜会の歩み**  
 上組第一土曜会は、1975年(昭和50年)に地区内の後継者15名により、毎月第1土曜日に地域の集会所に集まり、みんなで何でも話せる会、また地域の活性化のために何か貢献しようを合い言葉に結成しました。以来35年が経過しました。  
 現在では、会員が10名となりましたが先輩の活動を引き継いで微力ながら地域活性化のために活動しています。  
 主な活動内容は、地域内を流れる小田川沿いの草刈り作業、神楽の奉納、夏祭り等、

また会員の親睦旅行等行っています。  
 急激に押し寄せる少子高齢化による過疎化が著しい昨今、少しでも集落を元気にするためアイデアを出し合い、会員一同同じ思いで今後も活動を続けていきます。



草刈り作業

**上組第一土曜会 会則**  
 第1にみんな何でも話せる会にしよう  
 1に笑顔、2に笑顔で接しましょう  
 土と汗にまみれて地域のために貢献しよう  
 第1土曜日に全員参加しよう  
 会員は会長をもち立ててみんなで実行しよう

## 第4回 議会クイズ

《クイズ》

- 空欄に適切な言葉を入れてください。
- ① 井関定住団地、販売区画〇〇〇区画を予定。
  - ② 美しい森林づくり事業に〇〇〇〇万円。
  - ③ 〇〇地区小学校統合建設は。
  - ④ 町行〇〇〇の施業管理委託を。
  - ⑤ 今回の元気なグループ紹介、〇〇第一土曜会の皆さん

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりかな・年齢)」を記入してください。  
 議会への要望・ご意見なども書いてください。  
 「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。  
 正解者多数の場合は抽選で5名の方に1,000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

《あて先》

〒720-1522 神石高原町小島二〇二五  
 神石高原町議会事務局  
 「第4回議会クイズ係宛」

《締め切り》

2月8日(月) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。



門松

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。  
 昨年は、日本全体に不景気風が吹き荒れました。

また政権が大きく変わりましたが、まだうまく機能していかないようです。  
 今後この余波が神石高原町にも押し寄せてくると思われまます。

議会としても、住民の皆様の見解を十分聞き、効率のいい、また中身の充実した行政サービスを提供できるように努力していきます。

今年も議会並びに議会だよりをよろしく願います。

「横」